

平成 23 年度 三原市立第二中学校研究構想図

校訓

響き合う二中っ子

生徒の変容

知・徳・体のバランスのとれた人間力の向上

高める

「確かな学力」を育む教育活動のプロセスと構造

- ◎総合力（習得・活用された知識・技能を実生活に生かす「探究」の学力—学習意欲の高揚）
 - ☆「課題解決力」（諸課題を主体的に解決する力—主体的に学習に取り組む力）
- ◎論理力（習得された知識・技能の「活用」の学力—「相互作用(対話)」の充実）
 - ①「論理的読解力」（論理を適切に読み取る力） ③「論理的判断力」（論理が適切か否かを判断する力）
 - ②「論理的思考力」（適切な論理を考える力） ④「論理的表現力」（適切な論理を表現する力）
- ◎基礎・基本の力（知識・技能の「習得」の学力—体験重視）
 - ☆道徳性 ☆感性 ☆社会力 ☆コミュニケーション能力 ☆基礎・基本の学力(読・書・計算)

育成

体験の言語化・体験の経験化

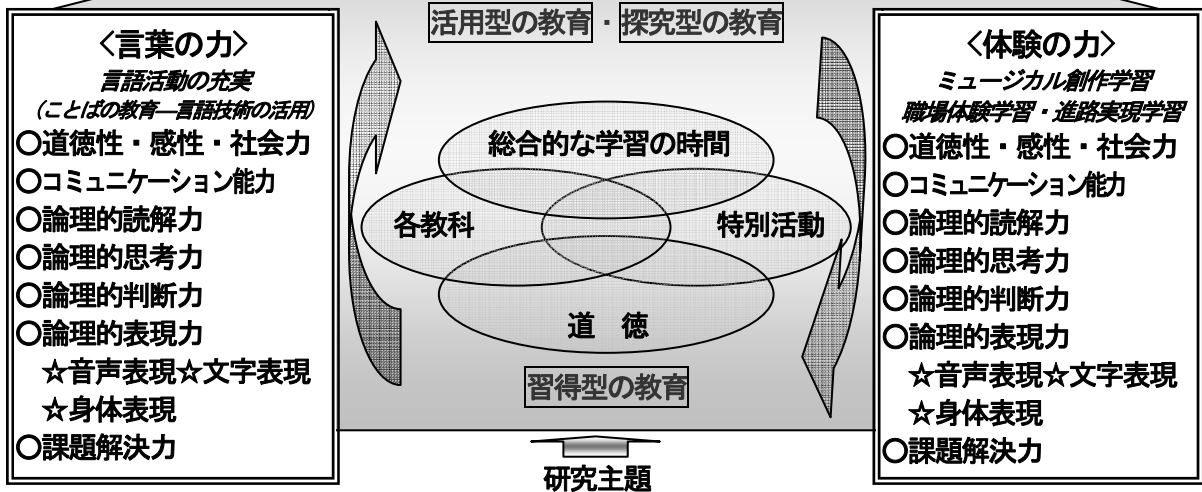
展開

対話

. 相互作用

総合単元的な道徳学習
— 各教科等横断的・総合的な学習 —
〈積極的な生徒指導〉

〈有機的な関連〉



言葉の力と体験の力によって「確かな学力」を育む
— 校訓「響き合う二中っ子」の実現を通して —